

村では下記の対象者に接種費用の助成を行っています

■ 小児インフルエンザ予防接種について

- ① 助成対象 ▶ 生後6か月以上中学3年相当まで
- ② 助成期間 ▶ 令和8年10月1日～令和9年1月31日
- ③ 実施医療機関 ▶ 村のホームページに掲載しています。
- ④ 接種方法 ▶ 実施医療機関に直接予約をしてください。

接種の際に必要な予診票は、各医療機関のものを使用してください。

■ 高齢者インフルエンザ・コロナワクチン予防接種について

- ① 助成対象
 - 1) 接種当日65歳以上の高齢者
 - 2) 接種当日60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方
- ② 助成期間(期間が異なりますのでご注意ください)
 - * 高齢者インフルエンザ予防接種 令和8年10月1日～令和9年1月31日
 - * 新型コロナウイルス予防接種 令和8年10月1日～令和9年3月31日
- ③ 実施医療機関 ▶ 福島県内の医療機関
- ④ 接種方法 ▶ 医療機関に直接予約をしてください。各医療機関に置いてある村の予診票をご使用ください。(村から各医療機関に予診票を送付しています)
- ⑤ その他 ▶ 県外で接種する場合は健康福祉課にお問い合わせください。

いいたてクリニックの予防接種情報 問 いいたてクリニック ☎0244-68-2277

10月中旬より、季節性インフルエンザ、新型コロナワクチンの接種開始を予定しています。10月1日より申し込みを受け付けておりますので、いいたてクリニックへお問い合わせください。
※いいたてクリニック開所日の火曜日・木曜日にお申し込みください。

予防接種 Q&A

Q1 予防接種はいつ頃受ければいいですか？

季節性インフルエンザは、例年12月から3月が流行シーズンです。個人差はありますが、免疫がつくまで2週間程度かかり、その効果は5か月程度といわれています。今年は、流行が早いので、早めに接種を受けることをお勧めします。

新型コロナについては、村では、国の指針に基づき、毎年秋から冬の時期に予防接種の時期を設けています。個人差はありますが、免疫がつくまで1～2週間程度かかり、その効果は約半年で徐々に低下していきます。

Q2 昨年、予防接種を受けました。今年も受ける必要がありますか？

インフルエンザ、新型コロナワクチンに用いられるワクチンは、流行している株に対応するため毎年見直されています。昨年、接種を受けた方であっても、今年度の接種についてご検討ください。

Q3 インフルエンザと新型コロナワクチンは、同時に接種することはできますか？

接種間隔に決まりはありません。医師に相談の上、インフルエンザと新型コロナワクチンは同時接種が可能です。その他のワクチンを受ける際も医師にご相談ください。

季節性インフルエンザと新型コロナの流行時期です

(参考：厚生労働省ホームページ)

■ インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによっておこる病気です。感染して1～3日間ほどの潜伏期間の後に、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に表れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。

通常12月から3月に流行し、潜伏期間ののち、約1週間の経過で症状が軽くなります。子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることもあります。

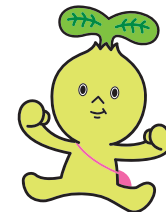
■ 新型コロナとは

新型コロナウイルスを病原体とする感染症であり、咳や飛沫を介して感染します。夏季及び冬季に患者が増加する傾向にあります。主な症状は発熱、咳、全身倦怠感ですが、頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等の症状が見られることがあります。

特に乳幼児や高齢者、一定の基礎疾患を有する方などが感染すると重症化するリスクがあります。新型コロナは年間を通して新規感染者が確認されています。

みんなができる感染症対策

- ① 外出後の手洗い、うがい等
- ② 咳やくしゃみの時は、咳エチケット
- ③ 人混みや繁華街への外出時のマスク着用
- ④ 室内ではこまめに換気をする



咳エチケット



マスク着用



手洗い



換気

予防接種をうけましょう

予防接種とは、感染症に対する免疫を付けたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。

接種をすることで、自分自身が感染症にかかることを予防すると同時に、より多くの方がワクチンを接種することで、社会に感染症がまん延してしまうのを防ぐことを目的としています。また、病気にかかったとしても、ワクチンを接種していた方は重い症状になることを防げる場合があります。